

平成22年度事業報告

I 事業

平成22年度は、プラズマ技術産業応用支援事業やものづくり基盤技術の高度化支援事業をはじめとする研究開発の促進、創業や新たな事業展開に関する相談・研修事業など中小企業等への支援に努めた。また、当地域におけるものづくり技術の集積を生かした産業見本市の開催や誘致に積極的に取り組んだほか、平成21年度に引き続き、指定管理者として市民サービスの一層の向上を図るため、安全・安心でより効率的な施設の管理運営に努めた。さらに、財団法人名古屋市工業技術振興協会との合併により、同協会から引き継いだ中小企業の技術者等の養成のための産業人材育成事業、工業技術に関する情報提供事業等を実施したほか、賛助員企業をはじめとする当地域の中小企業のニーズを踏まえた事業展開を積極的に図った。

1 先端技術研究開発推進事業 決算額 82,382 千円

サイエンスパーク研究開発センターの研究団体及び研究テーマ

- ・独立行政法人理化学研究所
 - 「介護支援ロボットの研究開発」
 - 「生物制御に基づくロボットの自律制御に関する研究」
 - 「人間-ロボット協調による生活支援に関する研究」
- ・財団法人名古屋産業科学研究所
 - 「シリコンカーバイドの単結晶を用いた超硬工具の研究開発」
- ・財団法人中部科学技術センター
 - 「自己整合技術を用いた有機光テープモジュールの開発」
- ・財団法人名古屋産業振興公社
 - 「テラヘルツ光技術の産業応用に関する研究」

2 プラズマ技術産業応用支援事業 決算額 100,964 千円

プラズマ技術産業応用センターにおいて、愛知・名古屋地域知的クラスター創成事業(第I期)による研究成果等を活用し、中小企業の技術革新を進めるため、名古屋市工業研究所の参画や関係大学の協力の下、中小企業等の技術相談やテスト処理・分析(機器トライアル)など様々なニーズにきめ細かく対応し、また、意欲ある中小企業への研究開発資金の提供、プラズマ技術の情報発信を通して、プラズマ技術によるものづくり技術の高度化の支援に努めた。

また、プラズマ技術の産業応用に関心のある企業を会員としたプラズマが拓くものづくり研究会（略称「PLAM」）において、講演会等の実施によるプラズマ技術の普及啓発や研究部会での技術課題の検討等、産業応用センターと連携して産業応用を推進した。

(1) 産業応用センターの運営

ア プラズマ技術に関する技術相談窓口の開設

専門的知識・経験を有するチーフテクニカルコーディネーター及びテクニカルコーディネーターを配置し、企業からの技術相談に対応した。

技術相談 49社 300件

イ テスト処理・分析の実施

企業からの依頼に応じて、プラズマ技術を用いた材料開発や高機能化のための試作を支援した。

トライアル件数 37社 536件

ウ 産業応用センターの利用促進及び技術動向調査の実施

技術移転コーディネーター（2名）の訪問等により、産業応用センターが行う支援事業や保有機器等の情報提供を行い、産業応用センターの利用促進を図った。また、プラズマ技術の産業応用に関する企業や市場の動向を調査するとともに、最新のプラズマ技術に関する情報を収集し、産業応用センターの運営に反映した。

対応企業 134社

エ 産業応用センター運営会議の開催

シニアアドバイザー、有識者等を委員とした運営会議を設置し、産業応用センター事業の戦略等について議論し、運営に反映した。

会議開催 4回

オ 産業応用センターの月刊誌発行

PLAM会員及び関係機関の担当者に対し、産業応用センター及びプラズマ技術に関する情報を毎月提供した。

定期号 12回

特別号 2回

(2) PLAMの運営

会員企業 259社

講演会開催 7回（うち実習3回）

国際シンポジウム開催 1回

参加者 延べ526人

また、PLAM参加企業と名古屋市工業研究所が共同で立ち上げた研究部会において、表面改質や廃液処理等の共通課題の解決に取り組んだ。

部会 3部会（環境イノベーション、表面処理、計測・制御）

参加企業 5社

部会開催 5回

(3) 創造的プラズマ技術産業応用研究開発事業費の補助

中小企業等が単独では実施し難い新技術・新製品に繋がる研究開発を促進することにより、地域産業の活性化に資することを目的として、中小企業等が行うプラズマ技術の産業応用を図るための研究開発に要する経費を補助した。

補助件数 2件

3 共同研究受託事業

決算額 57,695 千円

中小企業のものづくり基盤技術の高度化を図るため、基盤技術を担う中小企業、研究機関等の研究開発事業の運営管理を行った。

・テーマ 「高信頼性と緩み防止機能を併せもつ新形状ボルトの開発」

(平成21～22年度事業)

「高周波誘導加熱による錫めっきウイスキーの抑制技術と加熱処理の工程短縮、省エネルギー技術の開発」

(平成22～23年度事業)

「樹脂製導光板に三次元形状の微細溝を精密加工するために、被加工面形状の機上計測機能を具備した多軸制御工作機の開発」

(平成22～24年度事業)

(※いずれも経済産業省の委託事業（戦略的基盤技術高度化支援事業）)

4 研究開発促進事業

決算額 21,678 千円

(1) 産学行政連携支援事業

ア 研究会の開催

(ア) 環境分野 資源循環型ものづくり研究会

会員 12大学 230企業

開催 4回、参加者 96人

(イ) 医療・福祉・健康分野 ヒューマンインターフェイス研究会

会員 10大学 136企業

開催 1回、参加者 67人

(ウ) 情報分野 N-cube

会員 11大学 365企業

開催 4回、参加者 389人

(エ) ものづくり技術分野 CAEを活用したものづくり研究会

会員 2大学 32企業

開催 2回、参加者 141人

イ 名古屋医工連携インキュベータ入居者支援のためのマネージャー配置
2人

ウ 連携相談事業

なごやサイエンスパークに集積する研究機関・企業などの産学行政の連携活動を支援した。

なごやサイエンスパーク研究機関等連携会議の開催等 5回

(2) 資源循環型ものづくりに関するシンポジウムの開催

開催日 平成22年12月2日

場所 名古屋市工業研究所

参加者 305人

内容 特別講演会、事例研究の発表及び表彰、技術情報交流会

(3) 異業種交流グループの活動支援

異なった事業を行う中小企業が、相互に有する技術や市場に関する経験を活かし、技術交流と知識の融合化を促進する場を提供するため、講習会・講演会や会員交流会を開催した。

講演会・講習会 12回

優良企業の見学会・交流会 25回

他都市の先端企業の見学会・交流会 5回

会員交流会等 16回

(4) ものづくり交流フォーラム・工業技術グランプリの開催

中小企業の技術開発力の向上を図るため、「プラズマ技術とC A E・試作支援技術」をテーマとした、ものづくり交流フォーラムを開催した。

また、当地域で開発された優秀な新技術・新製品を表彰する工業技術グランプリを実施した。

ア ものづくり交流フォーラム

開催日 平成23年3月17日、18日

場所 名古屋市工業研究所

参加者 424人

イ 工業技術グランプリ

開催日 平成23年3月17日

場所 名古屋市工業研究所

受賞企業 9企業

5 新事業創出支援事業

決算額 158,405千円

(1) 相談・研修事業及び事業可能性評価委員会の運営

ア 相談・研修事業

創業や新たな事業展開を進めようとする起業家や中小企業を対象に相談や研修を行った。

(ア) 相談事業

相談企業 373社

相談内容 967件

(イ) 研修事業

・起業家支援セミナー（3日間）

開催日 平成22年6月5日、12日、19日

場所 ナディアパーク デザインセンタービル（会議室）

対象 起業を考えている方等（入門編）

参加者 20人

内容 起業家としての心構えや事業の立ち上げ

・情報化研修

開催日 平成22年9月14日、28日、11月9日

場所 名古屋ソフトウェアセンター

対象 情報化を進める中小企業

参加者 延べ57人

内容 情報セキュリティー等

・新事業支援セミナー（2日間）

開催日 平成23年2月5日、12日

場所 名古屋市中企業振興会館（会議室）

対象 第二創業を検討する中小企業

参加者 24人

内容 強い会社のトップの条件等

・ITベンチャー支援セミナー

開催日 平成23年2月25日

場所 名古屋市中企業振興会館（会議室）

対象 中小企業や起業を考えている方

参加者 92名

内容 次世代Web HTML5で変わる世界

(ウ) 他機関と連携したセミナー・相談会等

開催日 平成22年7月7日

場所 サイエンス交流プラザ

連携機関 独立行政法人中小企業基盤整備機構等

参加者 46人

相談企業 4社

イ 事業可能性評価委員会の運営

中小企業が行おうとする新事業の可能性について評価したほか、経営診断実施企業の選定等を行った。

経営診断事業の対象企業の選定審査 6社

なごやビジネスマッチング事業の対象企業の選定審査 17社

(2) 新市場開拓支援・ビジネスマッチング事業

独自の販売ルートを持たない中小企業に、試作品・新製品等を見本市・展示会へ出展する機会を提供し、また、創業間もない企業、個人等を対象に販路拡大や事業提携を支援するため、事業計画を募集し、発表の機会を提供した。

ア 展示会出展支援

出展支援企業 1社

イ なごや発ビジネスプラン募集・発表

プラン発表企業等 3社

発表会参加者 95人（財団法人あいち産業振興機構と共催）

(3) 大学発のベンチャー支援

将来性が見込める大学のシーズを活用した優れたビジネスプランを顕彰し、発表・マッチングの機会を提供するための発表会・交流会を開催したほか、地元大学が主催する展示会に出展し、支援制度のPRをはじめ情報提供を行った。

ア 大学発ベンチャービジネスプラングランプリ発表会・交流会の開催

開催日 平成23年1月24日

場所 名古屋市中小企業振興会館

プラン発表企業等 4社2学生

発表会参加者 213人

交流会参加者 75人

イ 地元大学主催の展示会への出展

・名大テクノフェア

出展日 平成22年9月3日

参加者 66人

・中部大フェア

出展日 平成22年9月18日

参加者 47人

・名工大・名市大フェア

出展日 平成22年11月17日

参加者 26人

(4) 新事業創出支援機関の連携促進

名古屋市関係支援機関を中心に、各機関が連携・協力し、創業や新事業にかかる出前型のワンストップ相談及び関係施策のPRを行った。また、名古屋市内に拠点を置く新事業支援機関（22支援機関）の連携を図るため、名古屋市新事業創出連絡会議を開催した。

○ 名古屋市関係支援機関

- ・名古屋市中小企業振興センター

- ・公益財団法人名古屋市小規模事業金融公社
 - ・名古屋市工業研究所
 - ・名古屋市信用保証協会
 - ・財団法人名古屋産業振興公社
- ア ワンストップ相談の実施日・場所
- ・ウェルフェア2010
(平成22年5月21日～23日 ポートメッセなごや)
 - ・メッセナゴヤ2010
(平成22年10月27日～30日 ポートメッセなごや)
 - ・しんきんビジネスフェア
(平成22年11月5日 ポートメッセなごや)
- イ 名古屋市新事業創出連絡会議
- あいち新事業活動促進連携会議と合同で開催した。
- ・担当者会議の開催 1回

(5) 専門家派遣事業(技術・技能指導)

中小企業の技術力の向上を図るため、退職した民間の熟練技術者等を指導者(テクノアドバイザー)として広く募集・登録し、中小企業からの依頼に応じて派遣することにより、生産現場における技術的課題の解決を支援した。

依頼企業 8社
 指導事項 10事項
 指導回数 93回

(6) 技術・経営相談等支援事業

都市型工業団地(nabi/金山、nabi/白金)の入居企業に対して、専門家への相談料、見本市への出展料等に対する支援を行った。

支援件数 39件

(7) インキュベーションマネージャーによる支援

都市型工業団地(nabi/金山、nabi/白金)の入居企業の支援及び誘致を行った。

研修会等の開催 3件
 日常的な経営相談 110件

6 普及啓発・情報提供事業

決算額 153,298 千円

(1) 普及啓発事業

ア 第21回マイクロ・ナノメカトロニクス国際シンポジウム「MHS2010」の開催

マイクロ・ナノメカトロニクス分野の先端技術に関する研究成果の普及啓発を図るため、名古屋市や他の科学技術振興団体と共同で、シンポジウムを開催した。

開催日 平成22年11月7日～10日

場所 名古屋大学（野依記念学术交流館）

参加者 155人

イ 市民向け啓発事業（なごや・サイエンス・ひろば）

市民の科学技術に対する理解と関心を深めるため、研究施設の一般公開、研究内容・成果の紹介、科学技術に関するイベント等を行った。

開催日 平成22年8月7日

場所 サイエンス交流プラザ、サイエンスパーク研究開発センター、先端技術連携リサーチセンター、独立行政法人産業技術総合研究所

参加者 約1,600人

ウ 「ナゴヤファッションコンテスト2010」の開催

ファッション業界における新しい才能の発掘と育成に寄与するため、ナゴヤファッション協会と共同で、ファッションクリエイターを志す国内外の学生、社会人等を対象としたファッションコンテストを開催した。

開催日 第1次審査会 平成22年6月11日

最終公開審査会 平成22年9月15日

場所 第1次審査会 ナディアパーク デザインセンタービル
(デザイン工房)

最終公開審査会 ナディアパーク デザインセンタービル
(デザインホール)

応募作品 3,524点（うち海外からの応募作品242点）

来場者 696人（最終公開審査会）

(2) 情報提供事業

ファッション関連企業、デザイナーなどファッションを取り巻く様々な立場の人を対象にトレンド情報等を提供するため、ナゴヤファッション協会と

共同で、ファッションセミナーを開催した。

開催 7回

参加者 延べ1,047人

(3) 情報提供・交流フロアの運営

急速な技術開発に対応し、最新技術の情報を正確かつ迅速に提供するため、内外の技術図書、技術情報誌、技術資料(計約4万冊)を無料で閲覧に供した。

また、異業種交流を促進するため、情報交流フロアの運営を行った。

図書館来館者 6,814人

情報交流フロア利用者 14,247人

7 産業人材育成事業

決算額 25,787千円

(1) ものづくり人材技術・技能スキルアップ支援事業

ものづくり人材の確保、熟練技能者の退職に伴う技能継承教育の推進、中小企業の技術開発力の強化のための研修・実習等を開催した。

ア 中小企業技術者研修

中小製造業の若手技術者が各種技術の基礎理論や応用知識を習得するための実践的な講義・実習を行った。

電子回路技術研修など10コース 受講者 143社 159人

イ 中小企業技能者育成講座

技能の継承を支援するため、熟練技能者の指導により技能士資格に関する訓練等を行う講座を実施した。

鉄工技能士1級2級講座など3コース 受講者 51社 59人

(2) 教育訓練事業

中小企業のものづくり人材を育成するため、業種を問わず産業界が抱える共通の課題に対応するための現場管理者・作業員向け講習会等を開催した。

ア 産業用ロボット作業員特別教育講習会

開催 9月、11月、1月、3月 受講者 102社 155人

イ ものづくり支援講座

(ア) 機械材料の知識と選択法

受講者 13社 16人

(イ) エレクトロニクスの知識

受講者 13社 16人

ウ 知的財産担当者養成講座

受講者 10社 10人

8 工業技術情報提供事業

決算額 8,405 千円

中小企業における工業技術力の向上を図るため、工業技術に関する指導及び相談を行うとともに、講演会、先進工場見学会の開催、情報誌の発行等により、工業技術に関する情報提供を行った。

(1) 工業技術相談・指導

ア 工業技術相談

相談件数 40件

イ 工業技術指導

指導回数 8回

(2) 新春講演会・懇親会の開催

開催日 平成23年1月18日

場所 ホテルキャッスルプラザ

参加者 124人

(3) 情報提供

ア 先進工場見学会の開催

開催日 平成22年11月9日

場所 AGF 鈴鹿株式会社

美和ロック株式会社 玉城工場

参加者 19人

イ 「技術のひろば」の発行

発行 3回 発行部数 各1,500部

ウ 商品展示・カタログ展示

(ア) 商品展示

展示場所 ナディアパーク デザインセンタービル

(デザインホール)

展示企業 8社

(イ) カタログ展示

展示場所 名古屋市中企業振興会館
名古屋市国際展示場（ポートメッセなごや）
名古屋市工業研究所

展示企業 15社

エ 賛助員に対するメールマガジンの配信

毎月1日、15日頃配信

オ 賛助員及び報道関係者に対する講習会・講演会等の案内発送

毎月10日頃発送

9 経済交流・誘致促進事業

決算額 6,283 千円

(1) 第13回国際福祉健康産業展「ウェルフェア2010」の開催

開催日 平成22年5月21日～23日

場所 ポートメッセなごや

出展者 124社・団体

来場者 70,379人

内容 福祉車両をはじめ、福祉用具、健康機器等の紹介・展示

同時開催 「介護・福祉・医療関連の就職・転職説明会」

(開催日 平成22年5月22日)

(2) 外資系企業誘致促進事業

外資系企業の名古屋進出を促進するため、名古屋市、愛知県、名古屋商工会議所等が共同で設立した「愛知・名古屋国際ビジネス・アクセス・センター」に職員を派遣し、名古屋市を始め関係機関と連携した活動を行うことにより、外資系企業の誘致を行った。

外資系企業の誘致件数 10件

10 関係団体事務受託事業

決算額 7,740 千円

企業や研究者を会員とする産業技術関係団体が行う研究・技術の交流事業等を支援するため、当該団体からの受託事務を行った。

(1) 異業種交流団体

| 団体名・代表者 | 助言者 | 会員 |
|--|----------------------------------|-----|
| テクノプラザナゴヤ91 会長 オハラ樹脂工業株式会社 代表取締役社長 尾原 成夫 氏 | 林 盛彦 氏 | 19社 |
| テクノプラザナゴヤ08 会長 株式会社吉田SKT 代表取締役会長 吉田 由孝 氏 | 有限会社エムエスアイ研究所 代表取締役社長 喜田 佳弘 氏 | 26社 |
| テクノプラザナゴヤ001 会長 株式会社八幡ねじ 代表取締役社長 鈴木 建吾 氏 | 愛知学院大学 教授 岩田 憲明 氏 | 23社 |
| テクノプラザナゴヤ90 会長 萩原電気株式会社 代表取締役社長 萩原 義昭 氏 | ニシキ経営研究所 所長 加藤 信一郎 氏 | 23社 |

(2) 各種研究団体

画像技術研究会

社団法人組込みシステム技術協会

中部生産加工技術振興会

中部治工具懇話会

中部塗装技術研究会

中部歯車懇話会

中部プラスチック技術振興会

中部溶接振興会

名古屋テキスタイル研究会

日本カム工業会

鍍金技術研究会

1.1 産業振興施設の管理運営

決算額 1,158,290 千円

(1) 展示施設

| 施設名 | 利用件数 | 利用日数 |
|--------------|------|------|
| 名古屋市中心企業振興会館 | | |
| 吹上ホール | 65件 | 224日 |
| 第1ファッション展示場 | 91件 | 230日 |
| 第2ファッション展示場 | 87件 | 214日 |

| | | |
|--------------------------|------|------|
| 名古屋市国際展示場(ポートメッセ なごや) | | |
| 第1展示館 | 26件 | 68日 |
| 第2展示館 | 48件 | 143日 |
| 第3展示館 | 60件 | 180日 |
| デザインホール | 138件 | 205日 |

(2) 研究開発・支援施設

ア 都市型工業団地 (nabi/金山、nabi/白金)

nabi/金山 入居19社

nabi/白金 入居29社

イ サイエンス交流プラザ

大会議室 29件

中会議室 50件

インキュベータ入居 6室

ウ 地域密着型ビジネス支援施設 (COMB i 本陣)

創業支援施設 入居12団体

NPO活動支援施設 入居12団体

12 その他

賛助員 412社 (平成23年3月31日現在)

Ⅱ 庶務の概要

1 理事会

第1回理事会

開催日 平成22年4月1日
場所 名古屋市中企業振興会館（会議室）
議案 専務理事の選任について

第2回理事会

開催日 平成22年5月31日
場所 名古屋市中企業振興会館（会議室）
議案 (1) 平成21年度事業報告及び収支決算について
(2) 平成22年6月1日就任の評議員の選出について
(3) 平成22年9月1日就任の評議員の選出について

第3回理事会

開催日 平成22年8月23日
場所 名古屋市中企業振興会館（会議室）
議案 (1) 評議員の選出について
(2) 組織及び事務処理規程、就業規則、給与規程、役員等の勤務形態及び報酬等に関する規程並びに財務会計規程の一部改正について

第4回理事会

開催日 平成22年9月1日
場所 名古屋市中企業振興会館（会議室）
議案 副理事長及び専務理事の選任について

第5回理事会

開催日 平成22年10月28日
場所 名古屋市中企業振興会館（会議室）
議案 (1) 平成22年度財団法人名古屋市工業技術振興協会の事業報告及び決算報告について
(2) 公益財団法人への移行について

第6回理事会

開催日 平成23年3月25日
場所 名古屋市中企業振興会館（会議室）

